



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1197 / 2012. 9. 14

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

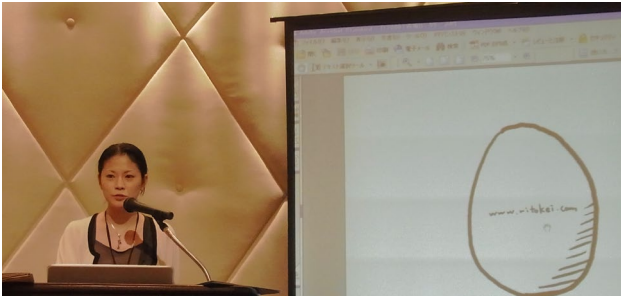
東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2012～2013 年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2012 年 9 月 14 日 第 1224 回
卓話: 「アサヒビール吾妻橋工場跡地再開発秘話」
アサヒビール株式会社 社友
岩村 一郎 氏

●前回報告/2012 年 9 月 7 日 第 1223 回例会
卓話: 「国内離島のいま」
株式会社 離島経済新聞社
編集長 鯨本 あつこ氏



親睦活動委員会: (村山委員長)

9 月 4 日 (火) 火曜会が行われた 14 名の出席でした。
9 月 5 日 (水) 親睦ゴルフ会が無事行われました。参加の皆様お疲れ様でした。

日韓親善会議報告: (地区社会奉仕委員会大日方委員長)

2012 年 8 月 31 日と 9 月 1 日の 2 日間、品川のグランドプリンスホテル新高輪で第 11 回日韓親善会議が行われました。韓国から元 RI 会長の李東建さん、現 RI 理事、元 RI 理事、RI 理事エレクト 5 人を含む約 200 人、日本からは北海道から沖縄まで 1,000 人を超えるロータリアンが参加しました。RI 会長の田中作次さんは 2 日間通して参加、日本の RI 理事をされた方が 10 名参加、盛大な国際会議でした。日韓の関係が微妙なときだったので準備された皆さんには不安があったと思います。ホテルの入り口には、ロータリー親善会議という看板、会場の入り口には日韓親善会議の看板が掲げてありました。

1 日目、東京恵比寿ロータリーの会員で日韓議員連盟副会長の山東昭子さんが「これからの両国のきずな」を深める活動の体験を話されました。

2 日目は、和太鼓の会「鼓遊」の勇壮なコンサートで始まりました。田中作次 RI 会長「奉仕を通じて平和を」というタイトルで 30 分間感動的なスピーチをされました。ロータリークラブには尊敬している人から誘われて何も知らないで入会した。約 2 年経ったとき、職業奉仕の話聞いたのがきっかけで、その日から少しずつ変わっていった。今、ロータリーは私の生活の一部になっていると自己紹介されて、「奉仕を通じて平和を」という思いを熱く語られました。

緒方貞子さんは、1951 年から 52 年、日本人 2 人目のロータリー財団国際親善奨学生としてジョージタウン大学に留学、飛行機が飛んでいなかった時代に船でアメリカ

西海岸に行き 2 日間かけて大陸を横断し大学にたどり着いたとのことでした。その後カリフォルニア大学バークレー校で博士号を取り上智大学の学部長をした後、国連難民高等弁務官をされ、今年 3 月まで国際協力機構(JICA)の理事長をしておられました。85 歳、大変お元気で 1 時間スピーチをされました。ご自身の経験を語りながら、国際平和に対するロータリーの果たす役割の大きさを語られました。

元 RI 理事で韓国親善委員会委員長の蔡さんは「ロータリーの現状と韓日親善」というタイトルで 30 分間、日本語でスピーチされました。東京、大阪、韓国ソウルのロータリークラブがほぼ同時に設立されたこと、戦争が起きてこの 3 つのロータリーが解散となり、戦争中東京は火曜会、大阪は金曜会、ソウルは水曜会として続けたこと、そして戦後、この 3 つのロータリーはほぼ同時に復活したことを紹介され、両国のロータリークラブの絆の強さを強調されました。また、蔡さんが RI 理事をされていたとき、RI の日本支部と韓国支部を廃止するという話が出て、それを全力で阻止したこと。中国の瀋陽にロータリーを作ろうとしたが中国政府の承認が得られなかったこと。いま日本と韓国は世界のロータリーの中心になっている。両国が力をあわせてロータリーを発展させて、世界平和を貢献しようと呼びかけて、話を締めくくられました。

もう一つ、日韓友情の掛け橋となった浅川功という人の感動的な話を聞きました。日本統治下の時代、朝鮮半島の山々に木を植え、朝鮮の文化を愛し、友好と親善を模索し続け、病に倒れ朝鮮でなくなった。日韓併合という不幸な時代に韓国の文化を大切に、韓国と共に生きて、韓国で倒れて一生を終わった浅川功のお兄さんの伯教、二人の資料館が山梨県北杜市にあります。最後に日韓の姉妹クラブ作りを広めようという提案があって日韓親善会議は終わりました。大盛会でした。次回は韓国で開催されます。

慶事披露: 100%出席

岩上 義明 (10 年)



出席報告: 会員 40 名/出席 24 名・欠席 16 名

ゲスト: 鯨本あつこ(卓話)、多和田真也(卓話)

ビジター: 菊田吉夫(東京六本木 RC)

計 3 名(敬称略)

●次回予告/ 2012 年 9 月 21 日(金) 第 1225 例会

卓話予定: 「日本を元気にするファーストフード」

篠崎公認会計士事務所

所長 篠崎 真吾 氏

親睦ゴルフ会報告

9月5日(水)、千葉県市原のオークビレッジカントリークラブで、本年度第1回の親睦ゴルフ会が行われました。残念ながら参加者は7名とやや少なかったものの、楽しい会となりました。9月というのに、まだまだ暑い日が続いているものの、朝方にはうっすらと霧がかかり、やや秋を忍ばせる風情でした。さすがに午後は猛暑になりましたが、途中リタイアする者もなく、全員無事ラウンドを完了できました。

コースは聞いていたとおりのすごさ、池とバンカーがふんだんに配置され、浮島フェアウェイやアイランドグリーンショートホールやら、グリーンは広くてポテトチップスのようにうねっている、苦労しながらのラウンドでした。

プレイ後は冷たいもので喉を潤しながら、表彰式、懇親会が和やかに行なわれました。優勝は竹本さん、河邊さんは準優勝と2つのニアピン賞と大活躍。河邊さんと会長、幹事、副会長には多大なご寄付をいただき、また、親睦副委員長の秋吉さんには、ご自身はプレイをしないにもかかわらず、すべての準備をしていただいた上に、ニアピン賞、参加賞のご寄付をいただき、感謝しております。不覚にも写真を撮り忘れてしまい、掲載はできません、すみません。(村山記)

参加者(NET順): 竹本、河邊、田村、小林、岩上、尾上、村山



9月7日(金) / 12件 24,000円
累計261,000円
多額の寄付を有難うございました。

尾関武男/先日の火曜会、出席出来ず申し訳ございません。本日の卓話、鯨本あつ子様よろしく申し上げます。高須康有/先週例会、火曜会ともに欠席しましてすみません。岩上義明/鯨本さん、本日の卓話楽しみにしております。宜しくお願い致します。秋吉志郎/ゴルフコンペ参加の皆様、参加ありがとうございました。村山公士/先日の親睦ゴルフ会に参加の皆様、お疲れ様でした。猛暑でしたが、事故もなく無事終えることができました。準備だけでプレーは出来なかった秋吉親睦副委員長、多額の寄付をいただきました尾関会長、清水副会長、飯島幹事に感謝申し上げます。竹本孝三郎/皆さん今日は。休会の立場ではありますが、親睦ゴルフコンペにお誘いいただき、優勝してしまいました。このように元気のもとを続けて復帰できればと思っております。田村昭二/威張れる事ではありませんが、今週の火曜日、初めてメイクアップに行ってきました。関陽一/吉岡さん、お疲れ様です。来週から妻が入院しそうです。ますます夜遊びできなくなりそうです。開発てつ/LEDを販売しておりますが、水銀灯の代替えのLEDが売り切れで困っております。どなたかご紹介くだされば幸いです。清水寛/受付のカウンターにまた2種のちらしを置いています。1つは、私自信が歌っているもの、1つは私の今の仕事でやっているプロの方の公演です。土屋東一/吉岡さん、ニコニコ御苦労様です。吉岡琢磨/一ヶ月ぶりの例会出席です。鬼の霍乱、珍しく体調を壊しました。

火曜会報告

今月のテーマは「夏休み、ふるさと、旅行について語ろう」、司会は親睦副委員長の藤井さん、初めてということもあり、少しぎこちなかったかもしれませんが、初々しく好感がもてました。欠席の尾関会長に代って、清水副会長から開会の挨拶をいただき、会が始まりました。

トップバッターは岩上さん、しっかりメモを用意、山形への家族旅行の様子を実に仔細に、よどみなく話され、湯殿山、酒田、鶴岡、湯田川温泉の風景が目に見えるようでした。1015段を登り切った山寺の山頂からの眺めは素晴らしく、米沢の牛肉も美味しい、すっかり山形が好きになってきたようでした。尾上さんもお家族と一緒に出かけられ、8月の下旬から9日間八ヶ岳の別荘で過ごし、5日間もゴルフを楽しんだとのこと、初めて100を切ったことを強調してました。

清水さんは仕事が忙しく、普段と変わらない日々で、家族で旅行をした昔が懐かしいと言っていました。オペレッタとオペラはどう違うのかという質問がきっかけで、それではミュージカルは?、と音楽の話にも花が咲きました。

参加者は夏休みを堪能した人、休めなかった人に分かれませんが、清水さん同様西澤さんも後者の代表、休みは1日だけ、ベンチャーキャピタルの審査などで多忙な毎日だったとのこと。ベンチャー企業は24ヶ月分のストックを持つのが望ましいと言口にしたのがきっかけで、あれこれ議論が始まり、司会者を困らせる一幕も。河邊さんも夏休みはほとんど無かった人、24時間だけの休みをとり、家族で白糸の滝へ、帰路御殿場のアウトレットに付き合ったりしたなどと話してるうち、突然、近々俳優デビューをすることになり、練習に精を出していると発表があり、一同多いに驚き、すっかり盛り上がり過ぎてしまいました。

吉田さんは、8月は半分以上を休み、存分にゴルフを楽しむことができ、飯島さんは、特に休みはなかったが、地元の盆綱という行事を、長年住んでるにもかかわらず、始めて見る事ができ、良い経験ができたようです。大日方さんは、始めて1週間も休んで故郷の長野に帰り、お盆の催事、親戚まわりや、絵を描いたり、庭の草取り、その上弟さんの野尻湖一周のマラソンに付き合わされ、結局田舎でもお忙しくされていたようです。

小原先生は、5日間北海道の友人のところで過ごし、のんびりとゴルフを楽しみ、友人が農業をするのを見て、こんな生き方もあるかと感心したということです。入沢さんは、もともと夏休みの取れないお仕事、ちょっとした旅行の話をしてたかと思っていたら、何時の間にか、暫く休んでいたゴルフを再開し、もうすっかり体勢も整ったので、いつでも誘ってくれと言っていました。田村さんは、お孫さんの話に終始、山手線の車中でカゴからカブト虫が逃げ出して大騒ぎになった話には皆さん大喜びでした。

予定時間を大幅に超過して終了、翌日ゴルフを控えている人は時間を気にしながらの帰宅でした。(村山記)



参加者: 藤井、岩上、尾上、清水、西澤、河邊、吉田、飯島、大日方、小原、入沢、小原、樫山(小原会員ゲスト)、村山 (順不同)